

参考資料 2

統計改革の経緯等について

平成29年12月

統計改革の背景・これまでの経緯

- **経済財政諮問会議（H27.10月）麻生財務大臣**
“経済情勢を的確に把握するためには、GDPを推計するもとなる基礎統計の充実に努める必要”
- **骨太方針2016（H28.6月 閣議決定）**
“GDP統計をはじめとした各種統計の改善に向け、経済財政諮問会議において、（中略）政府の取組方針を年内に取りまとめ”
- **統計改革の基本方針（H28.12月 経済財政諮問会議決定）**
経済統計改善の取組、「公的統計基本計画」の前倒し改定、「統計改革推進会議」の設置等を決定
- **統計改革推進会議の設置（H29.2月初会合）**
内閣官房長官（議長）、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、日本銀行総裁及び9名の有識者から構成
- **統計改革推進会議「最終取りまとめ」（H29.5月）**
今後の統計改革の具体的方針を取りまとめ
- **骨太方針2017（H29.6月 閣議決定）**
“「統計改革推進会議最終取りまとめ」等に基づき、証拠に基づく政策立案（EBPM）と統計の改革を車の両輪として、一体的に推進”

統計改革「最終取りまとめ」の概要（H29.5月）

政策・統計の改善

EBPMプロセスを通じた
経済統計の改善

1. EBPM（証拠に基づく政策立案） 推進体制の構築

- 各府省にEBPMの取組を総括する責任者を配置
- 政策、施策、事務事業の各段階における取組



2. GDP統計を軸にした経済統計の 改善

- 生産物分類・産業分類見直しなど統計基盤の整備
- GDP統計の基礎となる統計の改善
- 産業連関表の供給・使用表(SUT)体系への移行 等

経済構造の正確な把握
によるEBPMの促進

利活用促進

3. ユーザーの視点に立った統計シス テムの再構築と利活用促進

- 各種データを用いた統計的分析の推進
- 社会全体における統計等データの利活用の促進

リソース確保

4. 統計業務・体制の見直し、基盤 強化等

- 報告者負担の軽減
- 統計業務・体制の見直し・業務効率化
- 統計改革の推進の基盤強化 等

環境・基盤の整備

第2章 成長と分配の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題

5. 安全で安心な暮らしと経済社会の基盤確保

（6）統計改革の推進

「統計改革推進会議最終取りまとめ」等に基づき、証拠に基づく政策立案（EBPM）と統計の改革を車の両輪として、一体的に推進する。

EBPM推進の要となる機能を整備するとともに、政策、施策、事務事業の各段階のレビュー機能における取組を通じてEBPMの実践を進め、EBPM推進体制を構築する。また、GDP統計を軸にした経済統計の改善、ユーザーの視点に立った統計システムの再構築と活用促進、報告者負担の軽減と統計行政体制の見直し・業務効率化、基盤強化などの取組を推進する。その際、中長期にわたる改革の取組を確実に実施するため、必要となるリソースを計画的に確保するとともに、効率化の徹底等により官民の統計コストを3年間で2割削減する。

従来 of 経済統計を補完し、人々の幸福感・効用など社会の豊かさや生活の質（QOL）を表す指標群（ダッシュボード）の作成に向け検討を行い、政策立案への活用を目指す。

「公的統計基本計画」による統計改革の実行

- 統計委員会の意見（年内答申）を踏まえ、今後のアクションプランを決定（年度内に閣議決定）
- H30年度から、新たな計画（計画期間5年）の下で、各府省が具体的取組を実行

